

(令和6年6月現在)

福祉・介護職員の処遇改善について

国による福祉・介護職員の処遇改善については、これまで数次にわたり取組が行われており、平成24年度の介護報酬改定において福祉・介護職員処遇改善加算、令和元年10月には、福祉・介護職員等特定処遇改善加算、さらに令和4年10月には、福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算が創設されてきました。

さらに、令和6年度の介護報酬改定により、これら加算が一本化され、令和6年6月より新たに「福祉・介護職員等処遇改善加算（以下「処遇改善加算」という。）」が創設され、加算率の更なる引き上げや配分方法の工夫の見直しが行われました。

当事業団では、法人全体として処遇改善を実施しており、この処遇改善加算の取得に伴い、障害福祉事業所の加算取得の状況や職場環境等の要件について、次のとおり公表するものと致します。

社会福祉法人稚内市社会福祉事業団

○各事業所の加算取得状況

事業所名	サービス名	処遇改善加算
就労継続支援B型事業所稚内市北光園	就労継続支援B型	加算Ⅰ
共同生活援助事業所スマイルらいふ	共同生活援助（外部サービス利用型）	加算Ⅱ

○職場環境等要件（6分類） ※該当する欄に○を付しています。

分類	該当	内容
1 入職促進に向けた取組	<input type="radio"/>	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input type="radio"/>	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	<input type="radio"/>	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
2 資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input type="radio"/>	働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<input type="radio"/>	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="radio"/>	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等の導入
	<input type="radio"/>	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保

3 両立支援・多様な働き方の推進	<input type="radio"/>	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	<input type="radio"/>	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員が正規職員への転換の制度等の整備
	<input type="radio"/>	有給休暇が取得しやすい環境の整備
	<input type="radio"/>	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
		障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮
4 腰痛を含む心身の健康管理	<input type="radio"/>	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施
	<input type="radio"/>	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<input type="radio"/>	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施
	<input type="radio"/>	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
5 生産性向上のための業務改善の取組	<input type="radio"/>	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
		高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化
	<input type="radio"/>	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備
		業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
6 やりがい・働きがいの構成	<input type="radio"/>	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
		地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
	<input type="radio"/>	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	<input type="radio"/>	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供